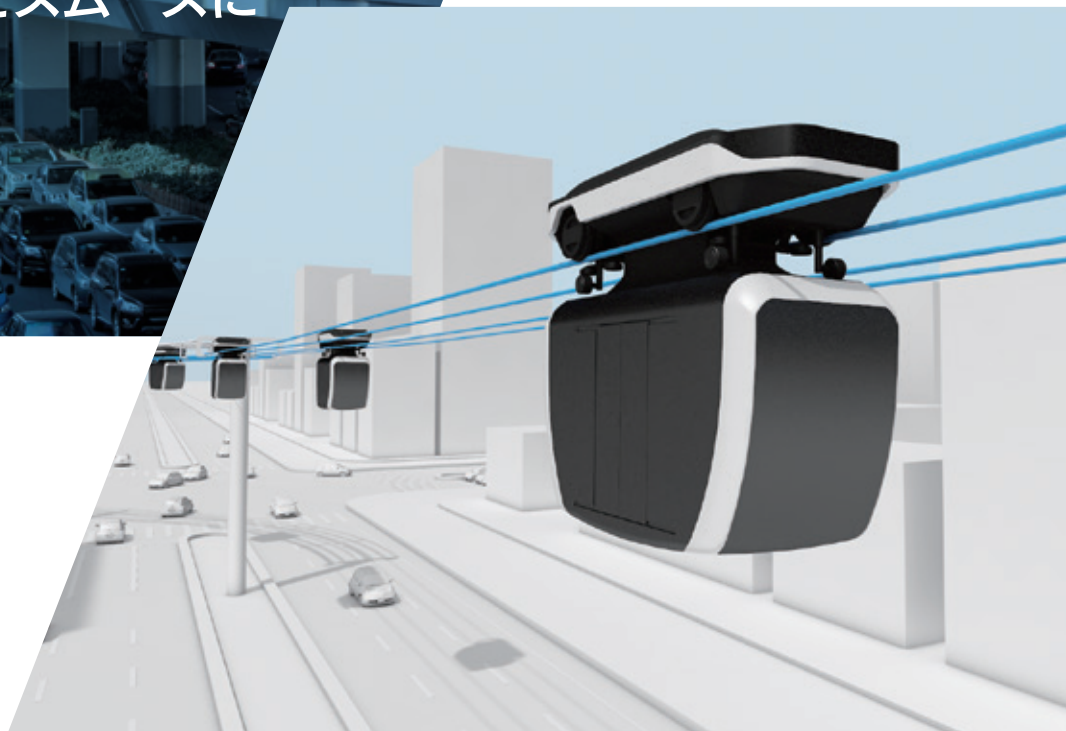


# 自走式ロープウェイ Zippar で 都市の移動をもっとスムーズに

zi Zip Infrastructure

## Zippar

都市型自走式ロープウェイ

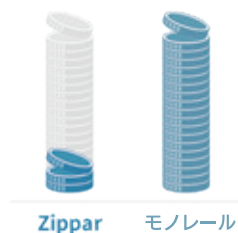


Zipparは、街づくりに貢献する次世代交通システムです。  
私たちは今までデッドスペースとなっていた道路上の空間に価値を見出しました。  
利便性、安全性、経済性に優れたZipparで、  
「渋滞のない、どこでも駅徒歩5分圏内となる世界」を創ります。

### 01 低コスト

軽量搬器と軽量支柱の組み合わせ

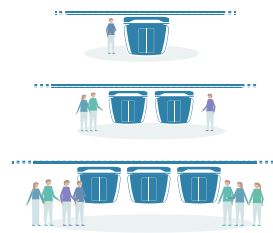
既存のモノレールに比べ、約  
1/5 のコスト(15億円/km)  
・期間(1年)で建設可能です。



### 03 自動運転

高頻度な交通インフラを実現する技術

自動運転のため、運転士不足に悩まされることもありません。時間帯や路線など、旅客需要に応じて車両数を増減させることができます。



### 02 自由設計

これまで難しかったカーブを可能としました

既存のロープウェイと異なり、Zipparはロープとゴンドラが独立しているため、カーブや分岐を自由自在に設けることができ、柔軟な路線設計ができます。



### 04 快適・安心走行

2本のロープとレール上を滑らかに安心走行

2024年中には駆動部の安全性が認められる予定です。また、ロープ2本タイプを採用していて、通常のロープウェイの1.5倍の風速(30m/s)まで運行できます。





湾岸エリア

陸と海が近く、既存交通システムでは建設費が高価



大規模工場

工場の移転・新設に伴う通勤渋滞の解消に

## こんなエリアに Zippar を

駅から大学、ショッピングモール、住宅地や団地、湾岸エリア、大規模工場等のエリアで、1時間に600～3000人程度の輸送需要があり、総延長は1～10km程度といった場所にマッチします。



大学

少子化による受験者減少を補うアクセス手段の改善



住宅地・団地

狭い生活道路の渋滞解消が課題



ショッピングモール

休日に発生する渋滞の解消に、都市部では車以外のアクセスも重要に

## 路線バスと LRT の間を埋める Zippar

Zipparは輸送量の面で路線バスとLRTの間を埋める存在です。路線バス、LRTは交通渋滞の影響を受けたり、LRTは私有地の取得が必要であったり、また道路を走行するため、定時性が低かったりといった問題を抱えています。しかし、Zipparは交通渋滞の影響を受けません。また、公道上の高架軌道で完結するため、私有地取得が不要で、バスよりも定時性が非常に高く、待ち時間も少ないというメリットがあります。

		バス(BRT)	Zippar	LRT(路面電車)	地下鉄
利便性	定時性	低い	高い	中程度	高い
	輸送能力	小	中	中	大
輸送力	定員	60～80人/台	8～12人/台	50～150人/両	800～1600人/編成
	最短運転間隔	90秒	12秒	90秒	150秒
経済性	建設費	0円	10～20億円/km	20～30億円/km	200～300億円/km
工事	期間	なし	1年	7年	10年
	用地確保	不要	不要	必要	必要

出典：静岡市「交通システムの比較」、京都市「新しい公共交通システムの概要と特性比較」、Zip Infrastructure調べ

